



園だより



第7期（令和4年1月4日～2月5日）

社会福祉法人 種の会 だいな幼児園

〒651-0064

神戸市中央区大日通 1 丁目 1-1

<tel:078-252-3810> fax:078-252-3820

mail:daina@tanenokai.jp



自分を好きになること

園長 溝上 宏子

あけましておめでとうございます。年末年始をご家族で楽しく過ごされたことと思います。キラキラした表情の子ども達からたくさんの楽しいお話が聞けること、とても楽しみです。新型コロナウイルスも流行し始めてから随分経ちますが、コロナウイルスはどんどん型を変え、私達はワクチンを打つなどしながら対応する他ない現状ですね。だいな幼稚園では引き続き、手洗いやうがい、消毒、検温、マスク着用をきちんと行い、これからもコロナ対策をしながら園生活を進めてまいります。

昨年 12 月中旬より、3歳児は劇あそびの活動を、4、5歳児は発表会のお稽古（リズム・歌・合奏・幼児劇）を始めています。今年度はダンスオブハーツというプロミュージカル俳優養成校に表現や演出方法の指導を仰ぐという新たな試みもあり、子ども達のダンスやセリフ回しにより磨きがかかっていること間違いなし！です。ぜひ、当日を楽しみにして頂きたいと思います。3歳児は毎日保育室において、保育者にいろんなお話を読んでもらい、衣装を着けて友達とキャーキャー言いながら劇あそびを楽しんでいました。その様子をどうぞ動画で、お楽しみ下さいね。

さて、先日新聞に経済協力開発機構の調査で、日本の子どもは他国に比べて「自己肯定感」が格段に低いという結果が出たと載っていました。その中で、心理学者のベッテルハイムは「子どもが生きることの意味を見出してやることで、その子が幸せに生きていくために最も大切だ」と述べていました。また、海外で教育に携わる人に「教育の目的は何ですか？」と尋ねたところ、みな口をそろえて「子どもが自分を好きになるようにしてやることです」と答えたとも書かれてありました。今は少し違うのかもしれませんが、ひと昔まえの日本なら「読み、書き、そろばんを身につけさせてやることです」とでも答えていそうですね。自分を好きになるとはどういうことなのでしょう？好きになるためにはまず、自分とはどういう人なのか？がわかることが前提になるような気がします。これは子どもだけでなく私達大人もじっくり考えてみないといけないことですね。みなさんは“自分が好きですか？”“自分とはどんな人ですか？”ご夫婦で、友人同士で、親子で話題にしてみてください。意外と自分の事がわかっていなかったり、自己肯定感が低いことに気づかされるかもしれません。また、その反対もありますね。未来を築いていく社会の宝である子ども達を教育し関わる大人がまず、自己肯定感高く、穏やかに人と関わり、人や物事を肯定的にとらえられるようになりたいですね。人的環境である職員ともこのような話を話題にしながら、どの子どもも幸せに生きていけるような保育・教育のありかたを共に考えていきたいと思います。



3歳児の劇あそび

山下 章乃

にじ組は、12月中旬から2週間、グループ毎に「劇あそび」を楽しみました。

昨年度は、3歳児も4・5歳児と共に発表会で「幼児劇」をしましたが、その導入として取り組んだ「劇あそび」が大いに盛り上がり、イキイキと表現を楽しむ子ども達の姿がありました。劇あそびが終わる時には「まだやりたい!」「明日もやりたい!」という声があがりました。「幼児劇」では、シナリオや配役を決めておけいこをしますが、「劇あそび」では、シナリオや配役は決めず、子ども達が好きな役を選んだり、自由にセリフを言ったり、表現したりしながら、物語を展開していきます。保育者も、子ども達と言葉をやり取りしながら一緒に遊び込みます。3歳児の子どもには、「幼児劇」以上に「劇あそび」が発達段階に合っていて、物語の世界を楽しんだり、役になりきって表現しやすいと感じました。私たち保育者にとっても、大きな発見でした。

そこで今年度は、3歳児は「劇あそび」を存分に楽しむことにしました。

マーズグループは「あかずきんちゃん」、マーキュリーグループは「おむすびころりん」を題材にしました。保育者が絵本を読み終わると、子ども達は好きな役の衣装を選んで身につけます。保育者が「あれ?何か音が聞こえない?」と問いかけると、ピアノ・効果音担当者がすかさず音を鳴らします。その瞬間、子ども達はもう物語の主人公になって、「〇〇がきたんだ!」「みんなで〇〇しよう!」と、思い思いに言葉を発します。絵本にでてくるフレーズを思い出して言う子もいれば、保育者の問いかけに自分のアイデアを返す子もいます。盛んに言葉を交わしながら、お話のイメージを共有します。

マーズグループは、赤ずきんちゃんがおばあさんに扮するオオカミを見舞う場面（「どうしてそんなに口が大きいの?」「それはね…」）を子ども達はスリル満点に楽しんでいました。室内だけでなく公園でも、赤ずきん役の子ども達とオオカミ役の保育者で、駆け引きを楽しみました。マーキュリーグループは、実際におむすびをつくって、ラップに包んで転がしたり、もち米で作ったおにぎりをみんなでついて、本当にお餅になるのか実験したりしました。ウッドブロックを杵に見立てて、餅つきをする場面もありました。

両グループともに、絵本のストーリー通り進む時もあれば、まったく違う展開に発展する時もありました。お話の途中で役を変更して、1人で何役もこなす子もいますし、少し離れたところから様子を見ている子もいます。配役もシナリオも自由なので、毎回違った展開があって、子ども達ひとりひとりの個性が実によく見えました。

今年度も、劇あそびが終わる時には、「もう1回やりたい!」「おもしろかった!」と子ども達から声が上がりました。

劇あそびの様子は動画撮影しています。2月初旬に、編集したものを保護者の方にお届けしますので、楽しみにしててください。



7期 1月4日（火）～2月5日（土）の活動



行事	1月13日（木） ダンスオブハーツ 1月18日（火） クッキング（そら・つばさ組） 1月20日（木） 誕生会 1月26日（水） クッキング（にじ組） 1月27日（木） ダンスオブハーツ 2月 2日（水） 節分 2月 3日（木） ダンスオブハーツ 2月 5日（土） 発表会（そら・つばさ組）
マイニチリズム	にじ：1～6期のリズムを楽器でたたこう そら・つばさ：発表会のオリジナル曲
運動あそび	体育あそび（サーキット運動）
絵画・造形	・節分制作・絵の具・クレパス
クッキング	にじ：ホットケーキ そら・つばさ：お好み焼き
園外保育	・王子南公園・王子動物園・宮本公園・青谷川公園 ・ジョギングコース





行事

2月2日（水）節分

節分のつどいや豆まきに参加し、歌を歌ったり話を聞いたりして、節分について学びます。

2月5日（土）そら・つばさ組発表会

リズム打ち・合唱・合奏・幼児劇をします。幼児劇は、ルビー・サファイアグループに分かれて行ない、ダンスオブハーツの指導を受けながら劇づくりをしていきます。

マイニチリズム・楽器遊び

にじ組

…引き続き4月から続けて行なっているリズム打ちをします。楽器を使ってリズム打ちを行なったり、動物の鳴き声・足音などを表現したり、慣れ親しんだ音楽に合わせていろいろな楽器を鳴らすことを楽しみます。

そら組
つばさ組

…カスタネットを使って、発表会のオリジナル曲に取り組みます。1～6期で触れたリズムが複数でてきます。ピアノ伴奏や友達と息を合わせてリズム打ちをします。

歌

にじ組

…「おしょうがつ」「おにのパンツ」「たきび」「ゆき」を歌います。

そら組
つばさ組

…発表会の合唱曲や劇中歌をきれいな声で歌います。

誕生会

特別な雰囲気の中、みんなで誕生児をお祝いします。誕生児はみんなに注目されたり、インタビューに応える経験をします。

そら組
つばさ組
プロジェクト
チーム

…司会や出し物を自分達で企画・準備し、保育者と一緒に誕生会を作り上げます。

サーキット

毎週水曜日のサーキットで、下記をポイントにして取り組みます。

にじ組 …跳び箱で、グー・トン・パーで飛び乗りに挑戦します。

そら組
つばさ組 …跳び箱で、グー・トン・パーで飛び越しに挑戦します。



動物園プロジェクト・園外保育

にじ組 …にじ組だけで王子動物園に行く経験をします。また、長い距離を歩けるようになっているので王子公園のジョギングコースや青谷川公園にも出かけます。交通ルールを守りながらしっかり歩きます。

そら組
つばさ組 …発表会のお稽古期間は、動物園プロジェクトはお休みします。
お稽古の息抜きに、王子動物園や宮本公園に出かけます。

絵画・造形

クレパスと絵の具を使ってはじき絵をしたり、水彩絵の具の上に塩をまいたりして冬の景色や思い出を描いていきます。製作を通して、色の変化や絵の具の特性を知れるように触れていきます。また、製作をする上でお正月や節分など日本の行事にも親しみます。

クッキング

にじ組 …ホットケーキを作ります。ホットケーキミックスに牛乳を混ぜ、できた生地をホットプレートで焼きます。1人ずつホットケーキをひっくり返すことに挑戦します。ジャムや生クリームなどで可愛く飾り付けをしています。

そら組
つばさ組 …お好み焼きを作ります。キャベツを切り、生地を混ぜて、作ります。
包丁の使い方に慣れてきたので、キャベツを細かく切ることに挑戦します。





だいな幼稚園 第7期 活動&行事カレンダー
1月4日（火）～2月5日（土）



		活動		その他
		にじ組	そら・つばさ組	
1/4	火	宮本公園	宮本公園	お弁当日
1/5	水	体育あそび・楽器あそび	体育あそび・お稽古	
1/6	木	凧作り	クレパス	
1/7	金	コーナー・ゾーン活動	コーナーゾーン活動・お稽古	
1/8	土			
1/9	日			
1/10	月	成人の日	成人の日	
1/11	火	動物園プロジェクト	お稽古	
1/12	水	体育あそび・楽器あそび	体育あそび・英語で遊ぼう	
1/13	木	クレパス	ダンスオブハーツ	
1/14	金	コーナー・ゾーン活動	コーナーゾーン活動・お稽古	
1/15	土			
1/16	日			
1/17	月	宮本公園	宮本公園	避難訓練
1/18	火	ゲーム遊び	リハーサル①・クッキング	
1/19	水	体育あそび・楽器あそび	体育あそび・お稽古	
1/20	木	誕生会	誕生会	
1/21	金	王子公園ジョギングコース	リハーサル②	
1/22	土			
1/23	日			
1/24	月	青谷川公園	節分製作	
1/25	火	動物園プロジェクト	お稽古	
1/26	水	体育あそび・クッキング	体育あそび・英語で遊ぼう	
1/27	木	絵の具	ダンスオブハーツ	
1/28	金	リハーサル見学	リハーサル③	
1/29	土			
1/30	日			
1/31	月	体育あそび・はさみ	体育あそび	
2/1	火	はさみ	リハーサル④	
2/2	水	節分	節分	
2/3	木	風船ゲームあそび	ダンスオブハーツ	
2/4	金	リハーサル見学	リハーサル⑤	
2/5	土		発表会	

お知らせ

◎そら・つばさ組発表会

2月5日（土）の午前中にだいな幼稚園にて行います。そら・つばさ組の園児と保護者の方はご参加ください。観覧人数については、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて決定し、後日ご手紙でお知らせいたします。

当日、にじ組の参加はありません。にじ組で土曜日保育を利用される方は、通常通りなかはらこども園で保育します。

◎そら・つばさ組の登園時刻について

そら・つばさ組は、9：30から発表会のお稽古をしますので、毎日朝9時20分までに登園してください。子どもが、最初から活動に参加できますように、よろしくお願いします。

◎服装について

子ども達の園での服装は、年間を通して、半袖 T シャツ＋気候に応じて長袖の服装でお願いします。冬場は、室内で暖房を入れていますので、子ども達は、体育遊びの時や活発に体を動かして遊ぶときに、汗をかいています。子どもが自分で衣服調整ができますように、よろしくお願いします。

◎すべての持ち物に記名してください

持ち主不明のマスク・衣類が増えています。すべての持ち物に記名をお願いいたします。健康調査票横の落とし物 BOX に、ご家庭のものがないか、ご確認ください。

◎アタマジラミについて

保護者のみなさまのご協力により、現在、アタマジラミの寄生が見られるお子様はおりませんが、今年度、園内でアタマジラミが繰り返し発生しており、再度発生することも十分に考えられます。引き続き、各家庭で、毎日の入浴、保護者の方による定期的な洗髪と、頭髮チェックを心掛けていただきますよう、よろしくお願いいたします。



動物園プロジェクト

松村 崇司

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。こんなご時世になってからなのか、単純に老いただけなのか…一年が過ぎる早さに驚きを隠せません。新しいネタ探しから始まった動物園プロジェクトは、各グループ“オモシロい”方向に進んでいます。6期では、その“オモシロい”が活動へ展開していきました。

動物科学資料館へとたどり着いたコアラグループ。資料館の中にはさまざまな動物の生態を知るコーナーがあり、子どもたちは目が釘付けでした。中でもいろいろな動物の“うんち”に子どもたちは関心が高いようでした。その日、園に帰ってからも“うんち”というワード一色。“これを逃すまい”と保育者は「じゃあ次は動物園にいろいろな動物さんのうんち見に行ってみない？」と子どもたちに提案。すると「さんせ〜い！」と子どもの声。次回、動物園に本物の“うんち”を見に行きました。「うわっ！ほんとだ！うんちに草入ってる！」と前回資料館で学んだこと、知ったことを存分に発揮しているようでした。資料館に行った際、「この動物は草を食べるからこんなうんちなのか…」「こっちは肉を食べるからこんなうんち…」など子どもながらに捉える視点がすごいなと感じました。子どもの観察力に大人も驚かされます。次はいよいよ“自分たちでうんちをつくってみよう（表現してみよう）”ということになり、造形活動へと移っていきました。紙粘土で自分の好きな形のうんちを思い思いに製作すると、その中の一人が「ねえ、草はどうやって表現したらいい？」と保育者へ尋ねてきました。「どうしょっか？草みたいな何か混ぜれそうなものあるかな？」と子どもへ返すと「何か探そう！」ということになり、園にあるいろいろな素材（廃材含む）を探しました。すると「これ使えそう！」と見つけたのが緑色のネットでした。その目のつけどころも“さすがだな”と思いました。ディスプレイにて飾っていますのでこの文章をお読みになった方は是非一度ご覧頂くか“たかっさん”までお尋ねください。

ここまでコアラグループでの活動を取り上げてきましたが、パンダグループやうさぎグループも活動へと展開していくスピードは違えど“オモシロい”ことをしています。パンダグループでは動物園MAPを基に自分たちで“何を見にいくか”“それを見るためにはどういうルートで回るか”などの話し合いをして決めたりしています。動物園に行ったらどんぐり拾いに夢中になり“動物は？”という日もありました。うさぎグループではガチョウのがっちゃんへの質問を皮切りに“飼育員さんに質問すること”と題したリストをみんなで考えて作り、実際にそれを動物園に持っていきました。いつになく子どもたちも真剣な眼差しで飼育員さんの話を聞いていました。実際に質問して学んだり、知ったりする経験はとても大切だと感じました。

令和4（2022）年、今年の動物園プロジェクトの各グループの活動や変容ぶりにも注目です。今後の子どもたちの姿がますます楽しみです。

そら・つばさ組



そら・つばさ組は、毎月のクッキングで包丁をよく使用しています。食材によって、硬さや、形が違い、作る料理によっても、切り方や大きさやが違います。子ども達は、「これはどうやって切るのがいい？」「これくらいがいいんじゃない？」と形や大きさをグループ内で相談したり「〇〇ちゃんも、次、切ってみる？」「手伝おうか？」と、役割交代をしたり、助け合ったりしています。各グループのリーダーになる子どもは、つばさ組だけでなくそら組の子どもがリーダーを担っていることもあります。「包丁を使わない時はこうやって置くよ（刃を奥側に向けて置く）。」「包丁に添える手は猫の手！」などと、子ども達だけで声掛けし合える姿に成長を感じます。お家で料理をお手伝いをして学んだことを知らせてくれる子どももいます。

また別の日、午睡をしないそら・つばさ組はコーナー遊びをしています。毎日 14:45 になると片付けをしておやつを食べに行きます。この日は、保育者がある子どもに「14:35 になったら、そら・つばさ組の子ども達だけで、お片付けして、おやつに行く準備をお願いしてもいい？IOOちゃんに、リーダーお願いできるかな？」と伝えました。

リーダーを任された子どもは、時間を意識して、度々時計に目をやっていました。13:35 になると子ども達がソワソワし始め、13:45 になると2階出入り口にきれいに一列に並び「せんせーい！もうおやつ行ってもいい？」と保育者に聞く姿がありました。子ども達は「どんなもんだい！」と自信に満ちた表情でした。

しかし保育者が「あれ、あれ、時計をよーく、時間見てごらん？」と言うと「ほんまや…（1時間）時間を間違えちゃった。早すぎた！」と子ども達。

しかし、私は、自ら率先して行動し、声をかけ合える子ども達の姿に感心しっぱなしでした。子ども達の成長に驚かされるばかりです。

そら・つばさ組担任 伊藤 結



にじ組



12月、にじ組は、劇あそびを繰り返しました。各グループで、繰り返し絵本を読み、活動していくうちに、子ども達の中に絵本のセリフを覚えて保育者に言われずとも自分でセリフを言って物語を進めていく子がでてきて、周りの友達もその子の影響を受けて一緒にセリフを言って劇遊びを楽しむ姿がありました。劇遊びが終わると「あかずきちゃん、まだやりたい!」「おむすびころりん次はなにをするん?」と毎回の劇あそびを楽しみにしている様子でした。「おむすびころりん」では、おじいさんが穴に落ちるシーンで、滑り台を頭から滑り落ちていく子、「あ〜!!」と叫びながら穴に落ちる様子を表現する子など子どもそれぞれに表現の仕方が様々で「こんな表現の仕方があったのか」と驚かされることなくさんありました。

お食事では、配膳がピュッフェスタイルになり、自分で食べられる食事の量を伝え、運べるようになりました。始めた時は食器の乗ったトレーを持ち運ぶのに保育者は手を添えて、運ぶことを手伝うことがありましたが、最近は子ども一人でトレー持ち、慎重に席まで運ぶことが出来るようになりました。また、はじめの頃は時間をかけて食事していた子も、最近は、時計を見て食べ終わりの時間を意識して完食できるようになっています。苦手な食べ物が出た時は「見て!」と自分で頑張って食べたこと保育者に伝えてくれる子が増えました。できることがどんどん増えてみんなに認められることで、自信がより一層ついた子ども達です。7期は、そんな子ども達と積極的に新しいことに挑戦していき、たくさんの経験を一緒にしていきたいと考えています。

にじ組担任 鈴木 さやか





だいな窓から



子どもたちがコマまわしで遊んでいるとき、Kくんがコマの板の上に寝転がっていました。Mくんが寝転がっているKくん「Kくん、どいてー」と言うと、聞こえているのか聞こえていないのか定かではありませんが、Kくんはどく様子がありません。するとMくんは「もう、どういてってば！」と無理やりKくんをどかせようとしたのですが、Kくんはムッとした様子で居座っています。その様子を見ていた私は、Kくん「Mくんがどいてって言っているのに、Kくんがどかないからじゃない？」と声をかけました。

しかし、私のそばで一緒にその光景を見ていたRちゃんが、こんな風に声をかけました。

「Kくんは、Mくんの言い方が嫌だったんじゃないかな？」。

Kくんの気持ちをRちゃんが気付いて代弁してくれたことで、怒っていたKくんは気持ちが落ち着いたようでした。

Rちゃんは将来だいな幼稚園の先生になりたいそうです。きっと素敵な先生になれると思います。

事務 揚村 麻菜美



だいな幼稚園の名物イベントといえば、“おたのしみこどもライブ”！ 職員と保護者を中心としたバンド「たかっさんと愉快的仲間たち」の皆さんが、人気・季節の音楽で楽しい時間をつくってくださっています。保護者のみなさんや、はらだ乳児園やなのは乳児園、岩屋学童保育コーナーの姉妹園の子どもたちや職員とも、一緒に楽しめる貴重な時間です。

このライブがなんと姉妹園に進出しています！ 11月にははっとこども園、12月には原田児童館で開催されました。だいな楽しい輪が、地域にどんどん広がっていくのはうれしいですね。今年度もあと1回、来年度も引き続き開催される予定です。パワーアップされた催しを、一緒に楽しんでいきましょう。

保育士 兼 法人広報 中村 聖子

第 7 期 食事だより

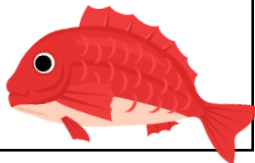
あけましておめでとうございます。今年も子どもたちのために美味しく、安全なお食事とおやつを作っていきます。よろしくお願いいたします。

◎旬の食材

鯛

縁起が良いとされる「たい」は、お正月に食べた方も多いのではないのでしょうか。

「鯛」はたんぱく質が多く、脂肪分が少ない魚です。そのため、お年寄りからお子様、スポーツをされる方には良質のよいたんぱく源として好まれています。ダイエットや胃腸が弱い方にもお勧めできる魚です。



白菜

白菜はビタミン C が豊富で、ストレスから体を守る働きや、風邪予防や免疫力を高めてくれます。

美味しい白菜を選ぶポイントは、ずっしりと重みがあり、葉と葉の隙間がなく、しっかりと詰まっていることです。白菜には黒い斑点がありますが、栄養過多や低温などが原因で現れる症状なので問題ありません。



みかん

みかんの果肉の袋には便秘改善の作用がある「ペクチン」が多く含まれおり、みかんを剥いた時に付いている白い繊維には食物繊維が豊富です。

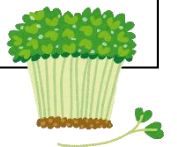
ヘタは小さく、少し枯れているものを選びましょう。色は濃く、つるつとなめらかで、皮はふかふかしているものより、張りがあるものがおすすです。



かいわれ大根

大根になる前の「かいわれ大根」には大根に負けないぐらいの栄養価が含まれています。

かいわれ大根にはビタミン C が多く含まれていますが、加熱するとビタミン C は壊れてしまうので、生で食べるのがおすすめです。ビタミン K や E は油と摂取すると吸収率が上がるので、油の入ったドレッシングと食べるとより吸収できます。



◎おせちのお話

だいな幼稚園では 1 月 6 日（木）にお正月メニューとしておせち料理をいただきます。その中でも、おせち料理にはたくさんの意味が込められています。だいな幼稚園で食べるお節料理の意味を紹介します！

＜次のページへ＞

<鯛の塩焼き>

お祝いの日ということから「めでたい」と「たい」をかけ、縁起の良い食べ物とされています。

<筑前煮>

「ん」がつく食材は「運」がつく縁起の良いものと考えられており、「にんじん」「こんにゃく」「れんこん」が筑前煮には入っています。また、「れんこん」は無数の穴が開いていて、向こう側が見通せることから、将来の見通しが良いとされています。

<紅白なます>

紅と白のお祝いの水引を「にんじん」と「だいこん」で表現した、平和を願う縁起物の料理です。

<栗きんとん>

きんとんは漢字で「金団」と書き、「金色の団子」という意味があり、金運上昇を願う料理になりました。

◎レシピ紹介 ～みかんジャム～

<材料>

みかん 4つ（大きめ）
砂糖 140g



<作り方>

- ①みかんの皮をむき、白い筋をなるべくきれいに取る。
- ②フードプロセッサーまたはミキサーで細かくする。
- ③鍋に②と砂糖を加えて、水分を飛ばしながら、とろみが出るまで煮詰める。
- ④③を冷やして完成！

だいな幼稚園のクッキングでは「手動フードプロセッサー」を使用しており、子どもの力でも細かくできるのでおすすめです。



先日のクッキングでにじ組がみかんジャムを作りました。
みんなで協力して作ったジャムは格別ですね。
おやつにトーストにのせて頂きました。
とても甘くておいしかったです。
是非お家でも作ってみてください。

◎お台所からのメッセージ

先日、そら・つばさ組のみんなでクリームシチューを作りました。グループによって切り方が異なり、「食べやすいように小さくしよう！」というグループや「大きくても噛んで小さくしたらいいよね！」と大きいグループもありました。水を計る時には、きっちり計るグループもありましたが、メモリよりもかなり多いグループがありました。「本当にその水の量でいいの？」と聞くと「大丈夫！」と言い、完成すると、少しゆるめのシチューができたグループもありました。どのグループも自分たちでやり切って、美味しいシチューを作ることが出来ました。次回のクッキングでも、さらにできることが増えるように見守りながら頑張っていきたいです。

栄養士 二宮 鈴菜

お昼ごはんの時にある子が「これ、苦手な野菜なんだ…」と私に話しかけてきました。ビュッフェでは少ない量を申告していたのですが、なかなか食べられない様子です。そんなとき、一緒に座っていたお友達が「僕こんなに食べたよ！」や「私も苦手だけど頑張って食べたよ！」と、ポジティブな声掛けをしてくれたおかげで、食べることが出来ました。一緒に食べていたお友達と一緒に頑張る姿が見られてとても嬉しかったです。これからも、子ども同士でコミュニケーションを取りながら食事を楽しんでほしいと思います。

栄養士 山本 菜那

最近のそら・つばさ組の子どもたちは、苦手な野菜を食べられるようになった様子が見られます。そんなある日、びっくりすることがありました。5歳の女の子は白ご飯が好きで、ビュッフェの際「どのくらい食べる？」と量を聞くと、「いっぱい〜い！」と身体で表現してくれます。「本当に食べられる？大丈夫？」と聞き返すと「大丈夫！」と笑顔で言ってくれました。その後、食べている様子を見に行ってみると、綺麗に完食していました。「全部食べたんだね！すごいね！」と伝えると「だいなのご飯めっちゃ美味しいもん！」と言ってくれ、とても嬉しかったです。これからも子ども達が喜んで食べてくれる食事を頑張って作っていきます。

調理師 荒巻 美帆